



アラージェ代 (仮)

イスラム過激派に走る若者たちを 取り戻すために

アフマド・マンスール 著

四六判上製 336 頁 予価：本体 2500 円＋税 ISBN978-4-7949-6945-3 C0036

未来のテロリストになりうる若者を 心理学者が食い止める！

なぜ若者たちはジハードに参加するのか？
イスラム教の教義にテロの責任はあるか？
私たちは宗教的過激主義にどのように対峙すべきか？

ドイツの移民二世や三世がイスラム教過激主義に走るのはなぜか。
自身も若い頃にイスラム過激派に染まり、
そこから抜けだした経験をもつ心理学者が、
彼らを「ジハード」にひきこむ過激派の手口を心理学的に分析し、
それを防ぐ方法や、すでに過激主義に染まってしまった
若者を引き戻す方法を提唱する。

【著者について】アフマド・マンスール

1976 年イスラエル生まれ (アラブ系イスラエル人)、心理学者。2004 年よりベルリン在住。自身も若い頃にイスラム過激派に染まり、そこから抜けだした経験をもっている。ベルリンで過激派に染まる若者と、その家族の支援活動を行っており、本書にはその活動が記録されている。

【訳者について】高本教之 (たかもと・のりゆき) 他

首都大学東京都市教養学部表象文化論教室助教。共訳書にウォルフガング・シヴェルプシュ『敗北の文化——敗戦トラウマ・回復・再生』(法政大学出版局)、ライナー・エアリンガー『なぜウソをついちゃいけないの——ゴットフリートおじさんの倫理教室』(KKベストセラーズ) がある。

目次

第一章 アラージェ代

私たちが今すぐにはたらきかけなければならない若者たち
冰山の一角にすぎないのか？

私はどうやってイスラム原理主義者になったのか

第二章 過激主義の誘惑

我が家の食卓の見知らぬ人——子どもたちが過激化するとき
過激化の諸原因

ムスリムの責任

サラフィストのほうが優れたソーシャルワーカーであるわけ
過激派がみなシリアに上陸するわけではない——急進的な若者の三つのケース

第三章 予防、そして過激主義からの脱却——いまずぐに！

全面的な機能不全

「私たち一君たち」という議論をやめよう

学校のあり方を変える——新しいソーシャルワークと教育

見栄えのよい冊子とキャンドル・ビジルでは問題は解決しない
すべてが手遅れでも、まだ残されていること——脱過激化

第四章 社会の盲点に対抗して —〇の具体的な提案

FAX03-3518-4944 配本申込み〆切 11月7日

新刊委託申込書	取次・貴店印	<h1>アラージェ代 (仮)</h1> <p>アフマド・マンスール 著</p> <p>【社会・海外事情】四六判上製・336ページ 予価：本体2500円＋税 ISBN978-4-7949-6945-3 C0036 11月24日配本予定</p>	申込部数
	ご担当 様		冊